

チーム中央小

中央小学校
校長室だより 第38号
令和2年11月6日(金)

「おじゃまします。研究授業&お仕事拝見」～1年1組

5日木曜日、蒲郡市の国語の指導員の藤田先生をお招きし、1年1組の国語の研究授業が行われました。担任の星野先生は、授業を見られると「どきどきします」と言います。実際、緊張しているかもしれませんが、星野先生自身はしっかりと教材研究を行っています。また、子どもたちを授業に向かわせるための学習の基本を、丁寧に教えてくれています。ですから、1年1組は、とても落ち着いて授業に取り組むことができます。

子どもたちは、「おとうとねずみチロ」について、仲間の意見を聞きながら、考えることができました。真剣に聴いたり、話したりできたことが1年生ながら素晴らしいと褒めていただきました。



映像で綴る～学校の様子～



3年生自転車教室



6年生自転車教室



就学時検診



1年2組研究授業

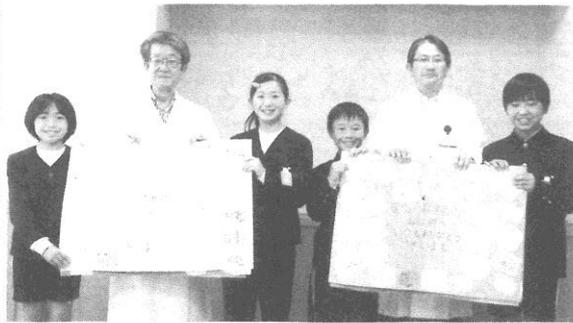
ちょっといい話と報告

- ◎10月29日、3年生と6年生の自転車教室が行われました。そこで、市の交通防犯課の方から、「中央小学校の子どもたちは、とても素直に聞いてくれました」と聞き方を褒めてもらいました。聞き方が上手な人は、話し方も上手です。校長先生は嬉しかったです
- ◎6年生が帰るとき、窓を閉めてくれる子どもたちがいるということ、ここに載せたことがあったと思います。6年2組の子どもたちだけでなく、1組の子どもたちも閉めてくれるようになりました。26日にY君が閉めてくれているのを見て、心が温くなりました。
- ◎11月4日に、5年生が校外学習で、トヨタ自動車に行ってきました。元気で無事にたくさん勉強ができたことが、とても嬉しいです。次号で報告します。

(裏面に、市民病院訪問についての印刷があります)

医療従事者へ心からエール

蒲郡 中央小児童が市民病院に



児童と一緒に記念撮影する城さん[㊟]と
中村院長[㊞]＝蒲郡市民病院で（提供）

蒲郡市立中央小学校の全校児童約290人が、医療従事者にエールを送る応援メッセージを作り、市民病院に届けた。中央小の前期児童会の活動行事が新型コロナウイルスの影響で実施できなくなった。児童会長だった下曾禰乃愛さんはコ

ロナ禍だからこそ、自分たちでできることはないかと考えた。そして、児童会のメンバーと話し合っ
て実現した。
メッセージは「医療従事者の皆様へ、いつもありがとうございます」と書かれている。その周りには「けがの人や病気の

人を助けてくれてありがとう」「お母さんが病気の時に助けてくれてありがとうございます」など児童一人ひとりが思いを込めた寄せ書きをしている。メッセージを6年生の児童が画用紙に貼り付けて完成させた。

市民病院に、下曾禰さんと八木唯翔さん、小峯優大さん、三浦優月さんが訪れ、最高経営責任者の城卓志さんと中村誠院長に手渡した。

城さんは「励みになります。病気と闘う気持ちかわいてきます」と話した。届けられたメッセージは院内に掲示する。

【林大二朗】